

## 2011年8月以降のTVスポット売買価格予測レポート

企業のマーケティング活動におけるROIの最大化を使命とする株式会社エスピーアイは、15年間の培ったデータをもとに、本年8月から10月までの、TVスポット広告市場の動向を分析、予測しました。

- 関東の対昨年同時期実績世帯コスト%は、8月+16%、9月+16%、10月+10%、の値上がりとなる見通し
- 関西・中京も+10%前後と再びインフレ傾向となる可能性が高い
- 中期的にも、インフレ率は収まるものの、2012年初頭まで値上がり傾向が継続の見通し

2011年4月のGRP単価は、昨年同時期に対して関東・関西が4%減、中京が2%減となり、各地区で2010年2月以降から続いていたインフレがストップしました。

5・6月にかけては震災の影響が残り昨年同時期レベルにとどまり、7月からは本格的にスポットが再開され、再び値上がりに転じているもようです。今後の見通しとしては、8月からは、地デジ化による視聴率の低下により、インフレが加速すると予測されます(※)。特に需要の逼迫する関東においては、より大幅なインフレが見込まれます。また、本年10月以降も、インフレ幅は多少減少するものの、引き続き対前年同月を上回る傾向が続くと予測できます。この傾向は、SPIの分析により、TOPIXを9ヶ月先行した数字と、SPI Indexとの相関から検証されています。

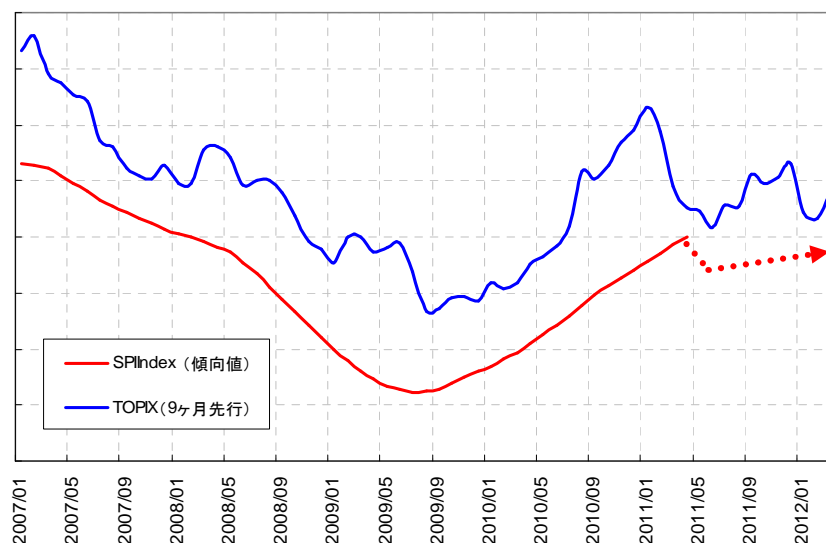
10月以降の詳細な取引価格予測は、2011年9月に公表する予定です。

※ SPI Indexは「実績GRP単価」であり、バイイング単価が値上がりしていない場合でも、世帯達成率の低下により上昇する可能性があります。

**SPI Index 予測値：対昨年同時期%**

地区/月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
関東	93%	99%	104%	116%	116%	110%
関西	92%	97%	103%	112%	112%	109%
中京	92%	97%	103%	112%	112%	109%

図：TOPIXによる、中期SPI Index 傾向値分析



\* より詳細な情報をお求めの方は、[spi.index@spi-consultants.com](mailto:spi.index@spi-consultants.com) までご連絡下さい。

文責：SPI 青柳・小久江